

山梨大学は「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」に採択され、地域(山梨県)の活性化を図るため、地域の発展に寄与する活動を推進しております。

本事業の中で行う教育プログラム「地域課題解決人材育成プログラム」地域課題解決科目では、外部有識者による講演を公開講座として、地域の皆様にもご参加いただくようにいたしました。

事例に学ぶ 風評被害と自然災害

2011年東日本大震災や2016年熊本地震では、甚大な人的物的被害に加えて、観光業が深刻な影響を受けました。2014年御嶽山噴火、2015年蔵王山、箱根山、桜島、2018年1月草津白根山における噴火警戒レベルの引き上げにより、被害の有無にかかわらず観光客は激減しました。これらの事例は、自然災害等の危機に観光業が極めて脆弱である事を再認識させるとともに、事前の観光客や登山者への情報提供、危機時における観光地の情報発信が非常に重要であることを示しています。

本講演会では、風評被害研究の第一人者で、災害時の情報発信や観光危機管理について卓越した知見を有する、東京大学総合防災情報研究センターの関谷直也特任准教授をお招きし、風評被害と自然災害について考えたいと思います。観光や防災分野に関わる方々、関心のある一般の皆様のご参加をお待ちしております。

**参加
無料**

日 時：2018年2月28日(水) 15:00 ~ 17:00

開催場所：山梨大学甲府キャンパス A2-12教室 (A-2号館1階)

関谷 直也 (せきや なおや) さん プロフィール

東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター
特任准教授

1999年慶應義塾大学総合政策学部卒業。2004年東京大学大学院人文社会系研究科社会情報専門分野博士課程単位取得満期退学。東京大学大学院情報学環助手、東洋大学社会学部専任講師、准教授を経て、現職。

専門は災害情報論、災害社会学、社会心理学。自然災害、原子力災害などにおける災害時の心理、情報伝達などを研究。

○主な活動(委員等)

- ・ 東京電力福島原子力発電所事故検証委員会政策・技術調査参事(政府事故調)
- ・ 新潟県原子力対策課「複合災害」対策検証委員会
- ・ 東京電力福島原発事故損害賠償被害調査委員会
- ・ 文部科学省・次世代火山研究・人材育成総合プロジェクトプロジェクトアドバイザー
- ・ 内閣府・噴火時等の避難計画の手引き作成委員会
- ・ 内閣府・火山防災対策の推進に係る検討会

○主な著書

- 『風評被害—そのメカニズムを考える』 光文社新書
- 『災害の社会心理』 KK ベストセラーズ
- 『環境広告の心理と戦略』 同友館



主催：山梨大学地域防災・マネジメント研究センター、山梨大学地域未来創造センター
共催(予定)：山梨県、公益社団法人やまなし観光推進機構

【お問い合わせ】

山梨大学 地域防災・マネジメント研究センター准教授 秦康範 Tel: 055-220-8533 Email: yhada@yamanashi.ac.jp

申込締切
2/26(月)

FAX:055-220-8702

公開講演会

「事例に学ぶ 風評被害と自然災害」

お申込方法

参加をご希望の方は、下記申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXまたはメールにてお申込ください。
講師の関谷直也氏にご質問したいことがあれば、あわせてお知らせ下さい。講師にお伝え致します。

FAX : 055-220-8702

メール : coc-event@yamanashi.ac.jp

氏名	所属・役職	電話番号	Eメール

会場

甲府東キャンパス A2-12教室



※お車で越越しの際は、総合案内所で
パスカードを取得し、工学部駐車場をご
利用ください。